

# 2018年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年5月2日

上場会社名 太陽ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 4626 URL http://www.taiyo-hd.co.jp

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)佐藤 英志

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 尾身 修一 TEL 03-5953-5200 (代表)

定時株主総会開催予定日 2018年6月23日 配当支払開始予定日 2018年6月25日

有価証券報告書提出予定日 2018年6月25日

決算補足説明資料作成の有無: 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期の連結業績(2017年4月1日~2018年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高	i i	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期	52, 241	9. 1	11, 337	22. 9	11, 199	21.7	4, 856	△24.1
2017年3月期	47, 866	△4.0	9, 221	△15.9	9, 202	△17.3	6, 398	△17.9

(注)包括利益 2018年3月期 5,014百万円 (△18.5%) 2017年3月期 6,151百万円 (4.4%)

		1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
Ī		円 銭	円 銭	%	%	%
	2018年3月期	168. 55	_	6. 8	11.0	21. 7
	2017年3月期	266. 46	_	11. 2	11. 7	19. 3

(参考) 持分法投資損益 2018年3月期 -百万円 2017年3月期 -百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2018年3月期	111, 490	73, 023	65. 2	2, 520. 68
2017年3月期	92, 386	71, 846	76. 9	2, 468. 99

(参考) 自己資本 2018年3月期 72,659百万円 2017年3月期 71,063百万円

# (3) 連結キャッシュ・フローの状況

(4) ~= 11 1 1				
	営業活動による	投資活動による	財務活動による	現金及び現金同等物
	キャッシュ・フロー	キャッシュ・フロー	キャッシュ・フロー	期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2018年3月期	8, 100	△24, 161	11, 319	41, 816
2017年3月期	9. 042	△1.063	20, 342	46, 661

## 2. 配当の状況

			年間配当金	配当金総額	配当性向	純資産配当		
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計	(合計)	(連結)	率(連結)
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2017年3月期	_	55. 00	_	65. 10	120. 10	3, 147	45. 1	5. 5
2018年3月期	-	65. 10	1	95. 10	160. 20	4, 613	95. 0	6. 4
2019年3月期 (予想)	-	65. 10	-	65. 10	130. 20		56. 0	

- (注) 1. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。
  - 2. 2018年3月期期末配当の内訳 普通配当 65円10銭 記念配当 30円00銭
- 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上	高	営業和	営業利益		経常利益		Eに帰属 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30, 500	18. 3	5, 100	△11.2	5, 000	△12.1	3, 500	△12.5	121. 42
通期	60, 200	15. 2	9, 800	△13.6	9, 600	△14.3	6, 700	38. 0	232. 43

(注) 2019年3月期の連結業績予想については、期中平均為替レートを対米ドル円で102円として算定しています。 参考値は、添付書類 P. 4「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

#### ※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更: 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

#### (3) 発行済株式数

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)2018年3月期28,865,194株2017年3月期28,841,100株② 期末自己株式数2018年3月期39,815株2017年3月期58,515株③ 期中平均株式数2018年3月期28,812,060株2017年3月期24,014,559株

- (注) 1. 第1回 A 種種類株式及び第2回 A 種種類株式は剰余金の配当請求権及び残余財産分配請求権について普通 株式と同等の権利を有しているため、期末発行済株式数及び期中平均株式数に含まれています。
  - 2. 自己株式数には、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与ESOP信託口)が所有する当社株式が含まれています。
- ※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1.経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

#### (日付の表示方法の変更)

「2018年3月期 決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しています。

## 種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は次のとおりです。

第1回A種種類株式	年間配当金							
第1凹A 性性類体式	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円銭	円 銭	円 銭			
2017年3月期	_	55. 00	_	65. 10	120. 10			
2018年3月期	-	65. 10	_	95. 10	160. 20			
2019年3月期 (予想)	-	-	_	_	_			

- (注) 1. 2018年3月期期末配当の内訳 普通配当 65円10銭 記念配当 30円00銭
  - 2. 第1回A種種類株式は、定款に基づき、2018年6月に普通株式と交換されるため、2019年3月期の配当は、予定していません。

第2回A種種類株式	年間配当金								
第2回A 俚俚规怀式	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計				
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭				
2017年3月期	_	55. 00	_	65. 10	120. 10				
2018年3月期	-	65. 10	l	95. 10	160. 20				
2019年3月期 (予想)		65. 10	_	65. 10	130. 20				

(注) 2018年3月期期末配当の内訳 普通配当 65円10銭 記念配当 30円00銭

# ○添付資料の目次

1.	経営	f成績等の概況 ·····	2
	(1)	当期の経営成績の概況	2
	(2)	当期の財政状態の概況	3
	(3)	当期のキャッシュ・フローの概況	3
	(4)	今後の見通し	4
2.	会計	·基準の選択に関する基本的な考え方	5
3.	連結	s財務諸表及び主な注記 ·····	6
	(1)	連結貸借対照表	6
	(2)	連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
		(連結損益計算書)	8
		(連結包括利益計算書)	9
	(3)	連結株主資本等変動計算書	10
	(4)	連結キャッシュ・フロー計算書	12
	(5)	連結財務諸表に関する注記事項	14
		(継続企業の前提に関する注記)	14
		(セグメント情報)	14
		(1株当たり情報)	18
		(重要な後発事象)	18

### 1. 経営成績等の概況

製商品品目については以下の略語を使用しています。

略語	内 容
PWB	プリント配線板
PKG	半導体パッケージ

#### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における米国経済は、雇用関係や企業業績の改善を背景に緩やかな景気の回復が続き、欧州経済においても輸出、設備投資の増加を背景にした景気の回復が続いています。中国経済は、外需増加による景気持ち直しの動きが見られ、日本経済においては、堅調な雇用・所得を背景に、緩やかな回復基調が続いています。

当社グループの関連市場である電子部品業界については、スマートフォン、仮想通貨用のサーバー、車載の各関連部材の需要が堅調に推移しました。

こうした中、当社グループは、主力製品であるソルダーレジストに大きく依存する事業構造からの脱却を図り、 当社グループが持つ「化学」というキーワードを軸に、総合化学企業へと飛躍すべく、3ヶ年の中期経営計画「NEXT STAGE 2020」を策定しました。

中期経営計画の1年目である当連結会計年度は、医療・医薬品事業を展開する子会社として太陽ファルマ株式会社を設立するとともに、長期収載品13製品の製造販売承認及び製造販売権等の資産を譲り受けました。

このような状況の下、為替が円安に推移した影響もあり、当連結会計年度の売上高は52,241百万円(前年同期比9.1%増)となりました。医療・医薬品事業が売上高の増加に寄与するのは、翌連結会計年度を想定しています。

リジッド基板用部材については、為替が円安に推移した影響もあり、販売実績は34,342百万円(前年同期比3.4%増)となりました。

PKG基板用部材及びフレキシブル基板用部材については、販売数量は前年を上回り、為替が円安に推移した影響もあり、売上高は12,197百万円(前年同期比17.9%増)となりました。

以上の結果、営業利益は11,337百万円(前年同期比22.9%増)、経常利益は11,199百万円(前年同期比21.7%増)となりましたが、永勝泰科技股份有限公司に係るのれんの一時償却を行った結果、親会社株主に帰属する当期純利益は4,856百万円(前年同期比24.1%減)となりました。

#### (製商品品目区分による販売実績)

当期における製商品品目別の販売実績は次のとおりです。

製商品品目の名称		前期実績	当期実績	前期比			
		(百万円)	ョ <del>如 英</del> 碩 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)		
	リジッド基板用部材	33, 216	34, 342	1, 126	3. 4		
PWB用部材	PKG基板用及び フレキシブル基板用部材	10, 348	12, 197	1, 848	17. 9		
	ビルドアップ基板用部材	1, 136	1, 502	366	32. 2		
その他関連商材		3, 165	4, 199	1, 033	32. 7		
	合 計	47, 866	52, 241	4, 375	9. 1		

セグメントの業績は次のとおりです(売上高にはセグメント間の内部取引が含まれています)。

# ① 日本

リジッド基板用部材は、車載関連部材を中心に堅調に推移し、PKG基板用部材は、高機能なスマートフォン関連部材、仮想通貨用のサーバー関連部材を中心に好調に推移しました。

この結果、売上高は19,807百万円(前年同期比10.6%増)、セグメント利益は3,408百万円(前年同期比68.2%増)となりました。

#### ② 中国

リジッド基板用部材は、車載関連部材を中心に堅調に推移し、PKG基板用部材は、高機能なスマートフォン関連部材を中心に好調に推移しました。

この結果、売上高は21,539百万円(前年同期比4.5%増)、セグメント利益は4,602百万円(前年同期比0.4%増)となりました。

#### ③ 台湾

リジッド基板用部材は、堅調に推移しましたが、低価格品の需要が低調に推移しました。 この結果、売上高は9,116百万円(前年同期比9.2%減)、セグメント利益は1,847百万円(前年同期比23.8% 増)となりました。

#### ④ 韓国

PKG基板用部材は、高機能なスマートフォン関連部材や仮想通貨用のサーバー関連部材を中心に好調に推移しました。

この結果、売上高は10,271百万円(前年同期比16.4%増)、セグメント利益は1,663百万円(前年同期比30.4%増)となりました。

#### ⑤ その他

リジッド基板用部材は、前年並みに推移しました。医療・医薬品事業は、当連結会計年度において金額的重要性が乏しいためその他のセグメントに含めています。

この結果、売上高は4,979百万円(前年同期比22.2%増)、セグメント利益は514百万円(前年同期比3.7%減)となりました。

#### (2) 当期の財政状態の概況

当期末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

	前期末 (百万円)	当期末 (百万円)	増減額 (百万円)	大口要因 (前期末との比較)
流動資産	67, 401	68, 373	971	現金及び預金4,212百万円の減少、受取手形 及び売掛金2,162百万円、商品及び製品1,317 百万円の増加
固定資産	24, 984	43, 116	18, 132	のれん3,429百万円の減少、販売権20,555百 万円の増加
資産合計	92, 386	111, 490	19, 103	
負債合計	20, 540	38, 467	17, 926	1年内返済予定の長期借入金5,615百万円、長期借入金8,753百万円の増加
純資産合計	71, 846	73, 023	1, 177	親会社株主に帰属する当期純利益4,856百万円、配当金の支払3,748百万円
負債純資産合計	92, 386	111, 490	19, 103	

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当期における連結キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

	当期金額 (百万円)	大口要因
営業活動による キャッシュ・フロー	8, 100	税金等調整前当期純利益7,941百万円、のれん償却額3,535百万円、法人税等の支払1,918百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△24, 161	無形固定資産の取得21,192百万円、有形固定資産の取得1,381百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	11, 319	配当金の支払3,748百万円、長期借入金の借入れ15,100百万円
現金及び現金同等物の増減額	△4, 844	
現金及び現金同等物の期末残高	41, 816	

#### (4) 今後の見通し

次期の事業環境は、当社グループの関連市場である電子部品業界におきましては車載関連部材や高機能なスマートフォン関連部材の需要が堅調に推移する一方で、一般家電製品は低調に推移すると予測しています。また、原油価格の高騰及び中国での環境規制の強化による原材料費の高騰を予測しています。

次期の医療・医薬品事業は、売上高の増加に寄与するものの、事業立ち上げのための費用先行により、営業利益の増加には寄与しないことを想定しています。

併せて当社グループの海外売上高比率は高いことから、次期は円高の進行により業績に影響が生じることを想定 しています。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
2019年3月期 見通し	60, 200	9, 800	9, 600	6, 700	232. 43
2018年3月期 実績	52, 241	11, 337	11, 199	4, 856	168. 55
増減率(%)	15. 2	△13. 6	△14. 3	38. 0	37. 9

# ご参考①

期中平均為替レートを2018年3月期と同水準の対米ドル円で111円として算定した場合の2019年3月期の業績予想は、次のとおりです。

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高	ij	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	31, 900	23. 7	5, 700	△0.8	5,600	△1.6	3,900	△2.5	135. 30
通期	63, 800	22. 1	11, 400	0.6	11, 200	0.0	7,800	60.6	270. 59

#### ご参考(2)

当連結会計年度において製造販売権を取得した長期収載品13製品の5ヶ年の業績予想は、次のとおりです。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	販売費に含む 販売権償却額 (百万円)	販売権償却前 営業利益 (百万円)
2018年3月期 実績	820	9	353	361
2019年3月期 見通し	7, 592	(注) △334	1, 411	1, 077
2020年3月期 見通し	9, 133	351	1, 411	1,763
2021年3月期 見通し	8, 634	532	1, 411	1,943
2022年3月期 見通し	8, 362	1, 263	1, 411	2, 674
2023年3月期 見通し	7, 732	1, 132	1, 411	2, 543

<sup>(</sup>注) 2019年3月期においては、製造移管に係る費用など事業立ち上げの初期費用約5億円を含みます。

# 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しています。

# 3. 連結財務諸表及び主な注記

# (1) 連結貸借対照表

		(事位:日刀闩)
	前連結会計年度 (2017年 3月31日)	当連結会計年度 (2018年 3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48, 800	44, 588
受取手形及び売掛金	13, 346	15, 509
商品及び製品	2, 182	3, 499
仕掛品	437	405
原材料及び貯蔵品	1, 797	2, 042
その他	936	2, 456
貸倒引当金	△99	△127
流動資産合計	67, 401	68, 373
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10, 359	9, 990
機械装置及び運搬具(純額)	2,850	2, 791
工具、器具及び備品(純額)	1, 155	989
土地	3, 920	3, 906
建設仮勘定	100	240
その他	3	5
有形固定資産合計	18, 389	17, 923
無形固定資産		
のれん	4, 104	674
販売権	<del>-</del>	20, 555
その他	433	589
無形固定資産合計	4, 537	21, 818
投資その他の資産		
投資有価証券	1, 058	2, 231
関係会社株式	19	19
繰延税金資産	230	264
退職給付に係る資産	332	326
その他	570	677
貸倒引当金	△154	△144
投資その他の資産合計	2, 057	3, 374
固定資産合計	24, 984	43, 116
資産合計	92, 386	111, 490
		,

	前連結会計年度 (2017年 3月31日)	当連結会計年度 (2018年 3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6, 170	7, 769
短期借入金	1, 274	2, 145
1年内返済予定の長期借入金	500	6, 116
未払金	1, 210	1, 853
未払法人税等	884	1, 448
賞与引当金	436	510
その他	877	648
流動負債合計	11, 355	20, 491
固定負債		
繰延税金負債	1, 387	1, 458
長期借入金	7, 169	15, 923
退職給付に係る負債	127	116
資産除去債務	352	397
その他	147	79
固定負債合計	9, 184	17, 975
負債合計	20, 540	38, 467
純資産の部		
株主資本		
資本金	9, 171	9, 232
資本剰余金	14, 824	14, 717
利益剰余金	46, 308	47, 415
自己株式	△178	△121
株主資本合計	70, 125	71, 244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	195	321
為替換算調整勘定	741	1, 084
退職給付に係る調整累計額	0	9
その他の包括利益累計額合計	938	1, 415
非支配株主持分	782	363
純資産合計	71,846	73, 023
負債純資産合計	92, 386	111, 490

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 (連結損益計算書)

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (自 2016年 4月 1日 至 2017年 3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年 4月 1日 至 2018年 3月31日)
売上高	47, 866	52, 241
売上原価	26, 220	27, 304
売上総利益	21, 645	24, 937
販売費及び一般管理費	12, 424	13, 599
営業利益	9, 221	11, 337
営業外収益		
受取利息	57	78
受取配当金	39	18
為替差益	14	-
補助金収入	20	45
その他	102	71
営業外収益合計	234	214
営業外費用		
支払利息	86	127
支払手数料	101	_
株式交付費	27	_
為替差損	_	208
投資事業組合運用損	5	_
その他	32	17
営業外費用合計	253	352
経常利益	9, 202	11, 199
特別利益		
補助金収入	546	24
投資有価証券売却益	_	16
その他		_
特別利益合計	575	40
特別損失		
のれん償却額		3, 278
減損損失	1,019	<del>-</del>
その他		19
特別損失合計	1, 021	3, 298
税金等調整前当期純利益	8, 756	7, 941
法人税、住民税及び事業税	2, 588	3, 040
法人税等調整額	△388	△24
法人税等合計	2, 199	3, 016
当期純利益	6, 557	4, 925
非支配株主に帰属する当期純利益	158	69
親会社株主に帰属する当期純利益	6, 398	4, 856

_			(十四・日/911)
		前連結会計年度 (自 2016年 4月 1日 至 2017年 3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年 4月 1日 至 2018年 3月31日)
	当期純利益	6, 557	4, 925
	その他の包括利益		
	その他有価証券評価差額金	99	125
	為替換算調整勘定	△519	$\triangle 45$
	退職給付に係る調整額	13	8
	その他の包括利益合計	△406	89
	包括利益	6, 151	5, 014
	(内訳)		
	親会社株主に係る包括利益	6, 063	5, 333
	非支配株主に係る包括利益	88	△318

## (3) 連結株主資本等変動計算書 前連結会計年度(自 2016年 4月 1日 至 2017年 3月31日)

		株主資本						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	6, 188	7, 304	42, 490	△14, 141	41, 841			
当期変動額								
剰余金の配当			△2,544		△2, 544			
親会社株主に帰属する当期 純利益			6, 398		6, 398			
連結範囲の変動			△35		△35			
連結子会社株式の取得によ る持分の増減		△609			△609			
新株の発行	2, 982	2, 982			5, 965			
自己株式の取得				△0	△0			
自己株式の処分		5, 145		13, 963	19, 109			
株主資本以外の項目の当期 変動額(純額)								
当期変動額合計	2, 982	7, 519	3, 818	13, 963	28, 283			
当期末残高	9, 171	14, 824	46, 308	△178	70, 125			

		その他の包括	5利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計	非支配株主持分	
当期首残高	96	1, 190	△12	1, 274	2, 135	45, 250
当期変動額						
剰余金の配当						△2, 544
親会社株主に帰属する当期 純利益						6, 398
連結範囲の変動						△35
連結子会社株式の取得によ る持分の増減						△609
新株の発行						5, 965
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						19, 109
株主資本以外の項目の当期 変動額(純額)	99	△448	13	△335	△1, 352	△1, 688
当期変動額合計	99	△448	13	△335	△1, 352	26, 595
当期末残高	195	741	0	938	782	71, 846

当連結会計年度(自 2017年 4月 1日 至 2018年 3月31日)

			株主資本		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9, 171	14, 824	46, 308	△178	70, 125
当期変動額					
剰余金の配当			△3,748		△3,748
親会社株主に帰属する当期 純利益			4, 856		4, 856
連結子会社株式の取得によ る持分の増減		△167			△167
新株の発行	60	60			121
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分				57	57
株主資本以外の項目の当期 変動額 (純額)					
当期変動額合計	60	△106	1, 107	56	1, 118
当期末残高	9, 232	14, 717	47, 415	△121	71, 244

		その他の包括	利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計	非支配株主持分	
当期首残高	195	741	0	938	782	71, 846
当期変動額						
剰余金の配当						△3, 748
親会社株主に帰属する当期 純利益						4, 856
連結子会社株式の取得によ る持分の増減						△167
新株の発行						121
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						57
株主資本以外の項目の当期 変動額(純額)	125	342	8	476	△418	58
当期変動額合計	125	342	8	476	△418	1, 177
当期末残高	321	1, 084	9	1, 415	363	73, 023

# (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	前連結会計年度	当連結会計年度
	(自 2016年 4月 1日 至 2017年 3月31日)	(自 2017年 4月 1日 至 2018年 3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	8, 756	7, 941
減価償却費	2, 485	2, 284
減損損失	1,019	_
のれん償却額	241	3, 535
支払手数料	101	_
株式交付費	27	_
投資事業組合運用損益(△は益)	5	_
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	_	$\triangle 16$
補助金収入	$\triangle 546$	$\triangle 24$
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	50	15
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9	△10
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△80	14
賞与引当金の増減額(△は減少)	36	72
受取利息及び受取配当金	$\triangle 97$	△97
支払利息	86	127
未収消費税等の増減額(△は増加)	_	$\triangle 1,759$
売上債権の増減額(△は増加)	△925	△2, 030
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△420	$\triangle 1,508$
仕入債務の増減額(△は減少)	567	1,653
その他	△56	△171
小計	11, 259	10, 025
利息及び配当金の受取額	97	92
利息の支払額	△80	△123
補助金の受取額	546	24
法人税等の支払額	$\triangle 2,779$	$\triangle 1,918$
営業活動によるキャッシュ・フロー	9, 042	8, 100
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	$\triangle 2,247$	$\triangle 4,379$
定期預金の払戻による収入	3, 082	3, 846
有形固定資産の取得による支出	△1, 584	$\triangle 1,381$
有形固定資産の売却による収入	35	_
無形固定資産の取得による支出	△76	△21, 192
投資有価証券の取得による支出	△271	$\triangle 1,021$
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による 支出	_	△10
その他	0	$\triangle 22$
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1, 063	△24, 161
1/2/11/2/12/05 D 1 1 / V = / /	△1,000	

		(光体、天天田)
		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (自 2016年 4月 1日 至 2017年 3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年 4月 1日 至 2018年 3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	308	1, 097
長期借入れによる収入	300	15, 100
長期借入金の返済による支出	$\triangle 466$	△502
社債の償還による支出	△100	_
自己株式の取得による支出	$\triangle 0$	_
自己株式の売却による収入	18, 932	_
配当金の支払額	$\triangle 2,544$	△3, 748
非支配株主への配当金の支払額	△383	△85
株式の発行による収入	5, 965	_
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得に よる支出	$\triangle 1,667$	△538
その他	$\triangle 1$	$\triangle 3$
財務活動によるキャッシュ・フロー	20, 342	11, 319
現金及び現金同等物に係る換算差額	△88	△102
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	28, 233	△4, 844
現金及び現金同等物の期首残高	18, 385	46, 661
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	42	
現金及び現金同等物の期末残高	46, 661	41, 816
<del></del>		

(5) 連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報)

- I 前連結会計年度(自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)
  - 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループの事業は、主としてPWB用ソルダーレジスト等の製造・販売の単一事業であり、持株会社である当社の下、各グループ会社において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。したがって、当社は、製造・販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」、「台湾」、「韓国」の4つを報告セグメントとしています。

- 2. 報告セグメントの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。 セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいています。
- 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

	報告セグメント			その他	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
	日 本	中 (注) 1	台 (注) 1	韓国	計	(注) 2	合 計
売上高							
外部顧客への売上高	9, 446	19, 923	6,062	8, 459	43, 891	3, 974	47, 866
セグメント間の内部売上 高又は振替高	8, 471	694	3, 979	366	13, 512	101	13, 614
計	17, 917	20,618	10, 042	8, 825	57, 403	4,076	61, 480
セグメント利益	2,026	4, 582	1, 492	1, 275	9, 376	534	9, 911
セグメント資産	17, 976	14, 972	14, 868	6, 711	54, 528	2, 988	57, 517
その他の項目							
減価償却費(注)3	1,068	252	474	118	1,912	93	2,006
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	526	272	48	98	946	20	966

- (注) 1. 「中国」及び「台湾」セグメントには、永勝泰科技股份有限公司(その他 子会社3社)の売上高及び営業利益を含んでいます。
  - 2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主として米国及びその他アジアの現地法人です。
  - 3. 減価償却費には、のれんの償却額を含んでいません。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売 上	前連結会計年度
報告セグメント計	57, 403
「その他」の区分の売上	4, 076
セグメント間取引消去	△13, 614
連結損益計算書の売上高	47, 866

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度
報告セグメント計	9, 376
「その他」の区分の利益	534
セグメント間取引消去	△103
のれんの償却額	△241
事業セグメントに配分していない損益 (注)	△348
その他の調整額	3
連結損益計算書の営業利益	9, 221

(注) 主として持株会社(連結財務諸表提出会社)に係る損益です。

(単位:百万円)

資 産	前連結会計年度
報告セグメント計	54, 528
「その他」の区分の資産	2, 988
セグメント間取引消去	△9, 983
事業セグメントに配分していない資産 (注)	44, 870
税効果組替	△17
連結貸借対照表の資産合計	92, 386

(注) 主として持株会社(連結財務諸表提出会社)に係る資産です。

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計	その他	調整額(注)	連結財務諸表計上額
ての他の項目	前連結会計年度	前連結会計年度	前連結会計年度	前連結会計年度
減価償却費	1,912	93	479	2, 485
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	946	20	756	1,722

(注) 主として持株会社(連結財務諸表提出会社)に係るものです。

- Ⅱ 当連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)
- 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループの事業は、主としてPWB用ソルダーレジスト等の製造・販売の事業であり、持株会社である当社の下、各グループ会社において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。したがって、当社は、製造・販売体制を基礎とした所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」、「台湾」、「韓国」の4つを報告セグメントとしています。

なお、2018年1月5日に子会社である太陽ファルマ株式会社が中外製薬株式会社及びF. Hoffmann-La Roche Ltd より製造販売承認及び製造販売権等の資産を譲り受けましたが、当連結会計年度においては重要性は乏しいため、「その他」の区分としています。

- 2. 報告セグメントの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。 セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいています。
- 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

	報告セグメント			その他			
	日 本	中 国	台 湾	韓国	計	(注) 1	合 計
売上高							
外部顧客への売上高	10, 171	21,063	6, 410	9,771	47, 416	4,824	52, 241
セグメント間の内部売上 高又は振替高	9, 636	475	2, 706	500	13, 318	154	13, 472
計	19, 807	21, 539	9, 116	10, 271	60, 735	4, 979	65, 714
セグメント利益	3, 408	4,602	1, 847	1,663	11, 521	514	12, 036
セグメント資産	21, 956	15, 085	12, 548	7,021	56, 611	29, 568	86, 180
その他の項目							
減価償却費(注)2	914	253	125	142	1, 436	393	1,830
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	542	250	110	123	1,027	21, 109	22, 137

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国及びその他アジアの現地法人、医療・医薬品事業等です。
  - 2. 減価償却費には、のれんの償却額を含んでいません。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売 上	当連結会計年度
報告セグメント計	60, 735
「その他」の区分の売上	4, 979
セグメント間取引消去	△13, 472
連結損益計算書の売上高	52, 241

(単位:百万円)

利益	当連結会計年度
報告セグメント計	11, 521
「その他」の区分の利益	514
セグメント間取引消去	184
のれんの償却額	△257
事業セグメントに配分していない損益 (注)	△629
その他の調整額	3
連結損益計算書の営業利益	11, 337

(注) 主として持株会社(連結財務諸表提出会社)に係る損益です。

(単位:百万円)

資 産	当連結会計年度
報告セグメント計	56, 611
「その他」の区分の資産	29, 568
セグメント間取引消去	$\triangle 4,265$
事業セグメントに配分していない資産 (注)	29, 628
税効果組替	△52
連結貸借対照表の資産合計	111, 490

(注) 主として持株会社(連結財務諸表提出会社)に係る資産です。

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計	その他	調整額(注)	連結財務諸表計上額
ての他の項目	当連結会計年度	当連結会計年度	当連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	1,436	393	454	2, 284
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	1,027	21, 109	375	22, 513

(注) 主として持株会社(連結財務諸表提出会社)に係るものです。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2016年 4月 1日 至 2017年 3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年 4月 1日 至 2018年 3月31日)
1株当たり純資産額	2, 468. 99円	2, 520. 68円
1株当たり当期純利益	266. 46円	168. 55円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載していません。
  - 2. 「1株当たり純資産額」の算定上、その計算において控除する自己株式に、株式付与ESOP信託口として保有する 当社株式を含めています。 (前連結会計年度58,480株、当連結会計年度39,660株)
  - 3. 1株当たりの当期純利益の算定上の基礎は以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2016年 4月 1日 至 2017年 3月31日)	当連結会計年度 (自 2017年 4月 1日 至 2018年 3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	6, 398	4,856
普通株主及び普通株主と同等の株主に帰属しない金 額(百万円)	_	_
普通株式及び普通株式と同等の株式に係る親会社株 主に帰属する当期純利益(百万円)	6, 398	4, 856
普通株式及び普通株式と同等の株式の期中平均株式		
数(株)	24, 014, 559	28, 812, 060
(うち普通株式)	(23, 959, 959)	(28, 747, 560)
(うち第1回A種種類株式)	(21, 600)	(21, 600)
(うち第2回A種種類株式)	(33, 000)	(42,900)

- (注) 1. 普通株式の期中平均株式数については、その計算において控除する自己株式に、株式付与ESOP信託口として保有する当社株式を含めています。(前連結会計年度63,565株、当連結会計年度45,635株)
  - 2. 第1回A種種類株式及び第2回A種種類株式は剰余金の配当請求権及び残余財産分配請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、1株当たり情報の算定上、普通株式に含めて計算しています。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。